

# 令和6年度 水道事業会計予算のあらまし

## ■ 業務の予定量

	令和6年度	前年度比
給水戸数	12万9,600 戸	1,300 戸
年間総給水量	2,590万0,000 m <sup>3</sup>	△200,000 m <sup>3</sup>
一日平均給水量	7万959 m <sup>3</sup>	△352 m <sup>3</sup>

## ■ 収益的収支

収益的収支とは、企業の経営活動に伴って発生する収入と、その年度の収入に対応する支出をいいます。

主な収益的収入として水道料金があります。

令和6年度水道事業会計予算では水道料金収入39億6,550万円、受託工事収益927万円、加入分担金などその他の収入6億3,753万円を合わせた46億1,230万円（前年度比0.1パーセント増）を予定しています。

収益的支出は、水道水を皆さんの家庭に届けるために必要となる費用です。

県の浄水場から水道水を買入れる受水費、配水ポンプなどの機械を動かすための動力費、機械や水道管の減価償却費などで構成され、47億1,447万円（前年度比0.2パーセント減）を予定しています。予算内容の見直しや圧縮などの合理化を進めてまいりましたが、固定資産除却に伴う資産減耗費の増の影響が大きく、1億217万円を純損失（消費税含む）として見込んでいます。

## ■ 資本的収支

資本的収支とは、企業の設備投資に伴って発生する収入と支出をいいます。

長期的な安定給水と地震等の災害に強い水道施設の整備を図り、配水管網の整備や浄水場施設の更新工事を推進するための収入と支出です。

令和6年度予算では、資本的収入として、企業債の借入れ、他企業などに依頼された水道管の布設替え工事代金の負担金など8億2,564万円（前年度比13.3パーセント減）を予定しています。

資本的支出は、浄配水場や配水管の改良工事費などが35億5,174万円、借入金の返済が1億8,295万円で、総額37億3,469万円（前年度比20.1パーセント増）を予定しています。

なお、収入に対する支出の不足額は内部留保資金などで補います。

## ■ 水道事業会計予算額の推移

（単位：万円）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収益的収入	46億6,962	46億6,681	46億4,844	46億872	46億1,230
収益的支出	44億6,642	44億7,416	44億9,851	47億2,270	47億1,447
資本的収入	3億7,758	4億1,764	12億1,452	9億5,238	8億2,564
資本的支出	19億6,046	24億6,986	28億5,953	31億849	37億3,469